

## ① 読み方を参考にして、次の漢文に送りがなをつけなさい。

- (1) 但見涙痕湿。  
但だ見る涙痕の湿ふを。
- (2) 輕舟已過万重山。  
輕舟すでに過ぐ万重の山。
- (3) 疑是地上霜。  
疑ふらくは是れ地上の霜かと。

## ●基礎演習4 ● 漢字かなまじり文を参照して、送り点と送りがなをつけなさい。

- ① 聞一以知十。  
一を聞きて以て十を知る。
- ② 人与吾千里馬。  
人吾に千里の馬を与ふ。  
(二日に千里も走れる名馬)
- ③ 不為兒孫買美田。  
兒孫の為に美田を買はず。

## ④ 読み方を参考にして、次の漢文に送りがなと送り点をつけなさい。

- (1) 少年易老学難成。  
少年老い易く学成り難し。
- (2) 覆水不返盆。  
覆水盆に返らず。
- (3) 有陰德者必有陽報。  
陰徳有る者は必ず陽報有り。
- (4) 百聞不如一見。  
百聞は一見に如かず。
- (5) 他山之石可以攻玉。  
他山の石以て玉を攻むべし。
- (6) 士不可以不弘毅。  
士は以て弘毅ならざるべからず。
- (7) 桃李不言、下自成蹊。  
桃李言はざれども、下自ら蹊を成す。
- (8) 一篇一詠膾炙人口。  
一篇一詠人口に膾炙す。
- (9) 不知其能千里食也。  
其の能の千里なるを知りて食はざるなり。
- (10) 瓜田不納履、李下不正冠。  
瓜田に履を納れず、李下に冠を正さず。
- (11) 孤極知燕小不足以報。  
孤極めて燕の小にして以て報ずるに足らざるを知る。
- (12) 妨害治民者也。  
民を治むるを妨害する者なり。
- (13) 如揮快刀断乱麻。  
快刀を揮ひて乱麻を断つがごとし。
- (14) 聞大王有意督過之。  
大王之を督過するに意有りと聞く。